

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	農林部農政課	評価者職氏名	課長 小岩 敬一	評価日	令和3年6月25日
-------	--------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	伊手山村広場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	伊手振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	農山村における定住促進と市民の健康増進に寄与する。	指定管理料の有無	無
施設概要		指定管理料の区分	—
	野球場、テニスコート及びゲートボール場、運動場、駐車場		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	伊手山村広場		2,889	3,157	2,957	1,042	
							3
	(計)	2,889	3,157	2,957	1,042	35.2	
[利用者の増減理由] 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、イベントや団体利用が中止されたことから利用者減が顕著であったもの。							

2 経費等の状況

	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
事業収支 (単位:円)	収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料	
		利用料金			0		賃貸料		賃貸料	
		自主事業			0		その他		その他	
		雑収入	168,896		168,896					
		計	168,896	0	168,896		計(A)	0	計(A)	0
	支出	人件費			0	※経常的 歳出	指定管理料	0	人件費	
		需用費	158,250		158,250		委託料	100,000	委託料	
		役務費	10,646		10,646		需用費		需用費	
		委託料			0		その他		その他	
		使用料・賃借料			0		計(B)	100,000	計(B)	0
租税公課				0	支出(B-A)		100,000	支出(B-A)	0	
その他諸費				0	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
				0		備品購入費		備品購入費		
	計	168,896	0	168,896		計(C)	0	計(C)	0	
損益	0	0	0	0	支出(B+C-A)	100,000	支出(B+C-A)	0		
職員配置	常勤職員			0人	市の正職員			0人		
	非常勤職員			0人	市の臨時・非常勤職員			0人		
利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出			%	R2年度指定管理者損益	0円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3		
行革効果	[指定管理による行革効果] ・指定管理によって職員の人件費等が軽減されているが、指定管理者が同様に管理する伊手地区センターと別の協定となっているため、事務効率が悪く、一括指定管理となればさらに行革効果が上がるものと期待される。 ・広場の維持管理に係る経費負担の軽減策として、将来的に地区センターとの一体指定管理が開始されるまでは除草委託料を支払うこととなったことから、市の支出が100千円の増額となっている。				[行革効果額] △ 100,000円				評価	
					[行革効果額の積算根拠]				2	
					R2	R1	比較			
	直営支出額				0	0	0			
市支出額				100,000	0	100,000				
効果額				△ 100,000	0	△ 100,000				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の適正かつ円滑管理	○		3
自主事業	地区民ソフトボール大会、地区民お盆野球大会、地区民運動会、グランドゴルフ練習・大会及びスポーツ少年団野球練習等	△	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
①施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切に実施されていることを確認した。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	適切に実施されていることを確認した。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施されていることを確認した。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節電・節水等、省エネルギーに努めている。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入				
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施されていることを確認した。	○		
②サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施されていることを確認した。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝				
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切に実施されていることを確認した。	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等はなかった。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	計画していた自主事業が実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響があったため		△
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	適切に実施されていることを確認した。			○
③危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に実施されていることを確認した。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施				
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保				
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故はなかったが、発生時は適切に対応できる体制となっている。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備				
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施				

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価 3
		調査内容	—	
		調査結果	アンケート調査を実施することはいつでも可能であるが、総会・集会等で直接聴き取りを行うことが容易であるため、ペーパーによる調査は実施する必要がない。	
	要望・苦情等	良好とする評価 要望・苦情はなかった。		
	苦情・改善要望等	苦情・改善要望等はなかった。		

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	2	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地区民が一体となり施設を定期的に清掃しているほか、周辺の草刈り、樹木の剪定等の環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好である。 ・指定管理者が同様に管理する伊手地区センターと別の協定となっているため、事務効率が悪く、現状では十分な行革効果が得られない。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	前年度に改善すべき課題・問題点等はなかった。	これまでどおり良好な管理運営に努めた。	改善すべき課題等はない。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	農林部農政課	評価者職氏名	課長 小岩 敬一	評価日	令和3年6月25日
-------	--------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	田原地区農村広場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	田原振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	農村地域における定住と市民の健康増進及び体験学習、各種イベント等に寄与する。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、野球場、駐車場、管理棟		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	田原地区農村広場	2,960	3,702	3,663	2,676	73.1	
(計)	2,960	3,702	3,663	2,676	73.1		
[利用者の増減理由] 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、イベントや団体利用が中止されたことから利用者減が顕著であったもの。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料		
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	217,898		217,898						
	計	217,898	0	217,898		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	※ 經常的 歳出	指定管理料	0	人件費	
		需用費	157,946		157,946		委託料	100,000	委託料	
		役務費	11,952		11,952		需用費		需用費	
		委託料			0		その他		その他	
		使用料・賃借料			0	計(B)	100,000	計(B)	0	
租税公課				0	支出(B-A)	100,000	支出(B-A)	0		
その他諸費		48,000		48,000	※ 臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
計		217,898	0	217,898		備品購入費		備品購入費		
損益	0	0	0	計(C)	0	計(C)	0			
支出(B+C-A)				支出(B+C-A)	100,000	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員		0人	市の正職員		0人				
	非常勤職員		0人	市の臨時・非常勤職員		0人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額			実収入額						
	0		0	0						
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出			%	R2年度指定管理者損益	0円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3		
行革効果	[指定管理による行革効果] ・指定管理によって職員の人件費等が軽減されているが、指定管理者が同様に管理する田原地区センターと別の協定となっているため、事務効率が悪く、一括指定管理となればさらに行革効果が上がるものと期待される。 ・広場の維持管理に係る経費負担の軽減策として、将来的に地区センターとの一体指定管理が開始されるまでは除草委託料を支払うこととなったことから、市の支出が100千円の増額となっている。				[行革効果額] △ 100,000円				評価	
					[行革効果額の積算根拠]				2	
					R2	R1	比較			
					直営支出額	0	0	0		
				市支出額	100,000	0	100,000			
				効果額	△ 100,000	0	△ 100,000			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の適正かつ円滑管理	○		3
自主事業	グランドゴルフ練習、地区民運動会、地区ソフトボール大会	△	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
①施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	適切に実施されていることを確認した。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施されていることを確認した。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節電・節水等、省エネルギーに努めている。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入				
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施されていることを確認した。	○		
②サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施されていることを確認した。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝				
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切に実施されていることを確認した。	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等はなかった。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	計画していた自主事業が実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響があったため		△
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	適切に実施されていることを確認した。			○
③危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に実施されていることを確認した。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施				
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保				
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故はなかったが、発生時は適切に対応できる体制となっている。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備				
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施				

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価
		調査内容	—	
		調査結果	アンケート調査を実施することはいつでも可能であるが、総会・集会等で直接聴き取りを行うことが容易であるため、ペーパーによる調査は実施する必要がない。	
	良好とする評価	要望・苦情はなかった。		
	要望・苦情等	苦情・改善要望等はなかった。		
				3

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	2	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地区民が一体となり施設を定期的に清掃しているほか、周辺の草刈り、樹木の剪定等の環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好である。 ・指定管理者が同様に管理する田原地区センターと別の協定となっているため、事務効率が悪く、現状では十分な行革効果が得られない。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	前年度に改善すべき課題・問題点等はなかった。	これまでどおり良好な管理運営に努めた。	改善すべき課題等はない。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	農林部農政課	評価者職氏名	課長 小岩 敬一	評価日	令和3年6月25日
-------	--------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	稲瀬地区農村広場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	稲瀬振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	農村地域における定住と市民の健康増進及び体験学習、各種イベント等に寄与する。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、野球場、駐車場、管理棟		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	稲瀬地区農村広場		2,050	2,000	3,000	2,100	
							3
	(計)	2,050	2,000	3,000	2,100	70.0	
	〔利用者の増減理由〕 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により地区民運動会が中止となったため。						

2 経費等の状況

	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
事業収支 (単位：円)	収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料	
		利用料金			0		賃貸料		賃貸料	
		自主事業			0		その他		その他	
		雑収入	1,474,192		1,474,192					
		計	1,474,192	0	1,474,192		計(A)	0	計(A)	0
	支出	人件費			0	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	
		需用費	96,659		96,659		委託料	100,000	委託料	
		役務費	30,046		30,046		需用費		需用費	
		委託料			0		その他		その他	
		使用料・賃借料			0		計(B)	100,000	計(B)	0
租税公課				0	支出(B-A)		100,000	支出(B-A)	0	
その他諸費	1,347,487		1,347,487	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費			
					備品購入費		備品購入費			
	計	1,474,192	0		1,474,192	計(C)	0	計(C)	0	
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	100,000	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員		0人	市の正職員		0人				
	非常勤職員		0人	市の臨時・非常勤職員		0人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出		%	R2年度指定管理者損益	0円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数		円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕 ・指定管理によって職員の人件費等が軽減されているが、指定管理者が同様に管理する稲瀬地区センターと別の協定となっているため、事務効率が悪く、一括指定管理となればさらに行革効果が上がるものと期待される。 ・広場の維持管理に係る経費負担の軽減策として、将来的に地区センターとの一括指定管理が開始されるまでは除草委託料を支払うこととなったことから、市の支出が100千円の増額となっている。			〔行革効果額〕 △ 100,000円			評価			
				〔行革効果額の積算根拠〕						
				R2	R1	比較				
	直営支出額	0	0	0	0	0				
市支出額	100,000	0	100,000							
効果額	△ 100,000	0	△ 100,000							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の適正かつ円滑管理	○		3
自主事業	地区民運動会	△	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
①施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	適切に実施されていることを確認した。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施されていることを確認した。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節電・節水等、省エネルギーに努めている。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入				
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施されていることを確認した。	○		
②サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施されていることを確認した。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝				
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切に実施されていることを確認した。	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等はなかった。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	計画していた自主事業が実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響があったため		△
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	適切に実施されていることを確認した。			○
③危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に実施されていることを確認した。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施				
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保				
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故はなかったが、発生時は適切に対応できる体制となっている。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備				
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施				

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価 3
		調査内容	—	
		調査結果	アンケート調査を実施することはいつでも可能であるが、総会・集会等で直接聴き取りを行うことが容易であるため、ペーパーによる調査は実施する必要がない。	
	要望・苦情等	良好とする評価 要望・苦情はなかった。		
	苦情・改善要望等	苦情・改善要望等はなかった。		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	2		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地区民が一体となり施設を定期的に清掃しているほか、周辺の草刈り、樹木の剪定等の環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好である。 ・指定管理者が同様に管理する稲瀬地区センターと別の協定となっているため、事務効率が悪く、現状では十分な行革効果が得られない。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	前年度に改善すべき課題・問題点等はなかった。	これまでどおり良好な管理運営に努めた。	改善すべき課題等はない。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	農林部農政課	評価者職氏名	課長 小岩 敬一	評価日	令和3年6月25日
-------	--------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	江刺伝統文化等保存伝習館	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	伊手第5区自治会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日（3年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	郷土の芸能と伝統文化を保存伝習するとともに、後継者の育成を図り、世代を超えた地域住民の連帯感を醸成する。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料のみ
施設概要	伝習室、談話室		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺伝統文化等保存伝習館	728	652	456	0	0.0	
(計)	728	652	456	0	0.0		
[利用者の増減理由]							
新型コロナウイルス感染症の影響により利用者がなかったため。							

2 経費等の状況

	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
事業収支 (単位:円)	収入	指定管理料	30,000		30,000	歳入	使用料		使用料	
		利用料金			0		賃貸料		賃貸料	
		自主事業			0		その他		その他	
		雑収入	83,658		83,658					
		計	113,658	0	113,658		計(A)	0	計(A)	0
	支出	人件費			0	歳出 ※経常的	指定管理料	30,000	人件費	
		需用費	91,875		91,875		委託料	27,500	委託料	68,250
		役務費	5,395		5,395		需用費		需用費	
		委託料			0		その他		その他	
		使用料・賃借料			0		計(B)	57,500	計(B)	68,250
租税公課				0	支出(B-A)		57,500	支出(B-A)	68,250	
	その他諸費	16,388		16,388	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費		
						備品購入費		備品購入費		
計	113,658	0	113,658	計(C)		0	計(C)	0		
	損益	0	0	0	支出(B+C-A)	57,500	支出(B+C-A)	68,250		
職員配置	常勤職員			0人	市の正職員			0人		
	非常勤職員			0人	市の臨時・非常勤職員			0人		
利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		%		R2年度指定管理者損益	0円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		#DIV/0!円		事業目的に適合しない支出等の有無		なし		3	
行革効果	[指定管理による行革効果]				[行革効果額] 10,750円				評価	
	指定管理によって、使用申請の受付・許可、鍵の開閉等に係る職員の人件費等が軽減されている。				[行革効果額の積算根拠]					
						R2	R1	比較		
					直営支出額	68,250	68,250	0		
市支出額					57,500	57,500	0			
効果額	10,750	10,750	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の適正かつ円滑管理	○		3
自主事業	熊野神社蘇民祭他	△	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
①施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切に実施されていることを確認した。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	適切に実施されていることを確認した。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施されていることを確認した。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節電・節水等、省エネルギーに努めていた。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入				
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施されていることを確認した。	○		
②サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施されていることを確認した。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝				
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等がなかったことを確認した。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	計画していた自主事業が実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響があったため		△
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	適切に実施されていることを確認した。	○		
③危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に実施されていることを確認した。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保				
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故はなかったが、発生時は適切に対応できる体制となっている。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	○		
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を実施していることを確認した。	○		

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価
		調査内容	—	
		調査結果	アンケート調査を実施することはいつでも可能であるが、総会・集会等で直接聴き取りを行うことが容易であるため、ペーパーによる調査は実施する必要がない。	
	要望・苦情等	良好とする評価 要望・苦情はなかった。		
	苦情・改善要望等	苦情・改善要望等はなかった。		
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	2	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	2	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	地区民が一体となり施設を定期的に清掃しているほか、周辺の草刈り、樹木の剪定等の環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好である。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度に改善すべき課題・問題点等はなかった。	これまでどおり良好な管理運営に努めた。	R3. 4. 1廃止

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	農林部農政課	評価者職氏名	課長 小岩 敬一	評価日	令和3年7月2日
-------	--------	--------	----------	-----	----------

施設名称	江刺ふるさと市場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	岩手江刺農業協同組合	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	農林水産物及び特産品等の販売を促進するとともに、消費者及び生産者の交流により地域産業の振興を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	利用料金のみ
施設概要	販売室、会議室、臨時販売室、屋外広場		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺ふるさと市場		452,971	451,840	440,372	428,034	
							3
	(計)	452,971	451,840	440,372	428,034	97.2	
	〔利用者の増減理由〕 新型コロナウイルスによる外出自粛等の影響により減少した。						

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	0		0	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	67,446,716		67,446,716		賃貸料		賃貸料		
	売上収入	673,102,644		673,102,644		その他		その他		
	雑収入	14,790,853		14,790,853						
	計	755,340,213	0	755,340,213		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	80,866,037		80,866,037	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	
		需用費	21,320,427		21,320,427		委託料		委託料	
		役務費	9,171,057		9,171,057		需用費		需用費	
		委託料	1,387,320		1,387,320		その他		その他	462,000
		販売等経費	643,826,297		643,826,297		計(B)	0	計(B)	462,000
賃借料		657,281		657,281	歳出 ※臨時的	支出(B-A)		0	支出(B-A)	462,000
租税公課		3,938,009		3,938,009		維持修繕費		維持修繕費		
減価償却費		8,326,565		8,326,565		備品購入費		備品購入費		
その他		1,765,461		1,765,461		計(C)	0	計(C)	0	
計		771,258,454	0	771,258,454		支出(B+C-A)		0	支出(B+C-A)	462,000
損益	△ 15,918,241	0	△ 15,918,241	支出(B+C-A)		0	支出(B+C-A)	462,000		
職員配置	常勤職員	3 人		市の正職員		0 人				
	非常勤職員	29 人		市の臨時・非常勤職員		0 人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	67,446,716		67,446,716							
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		10.5 %		R2年度 指定管理者損益	△ 15,918,241 円		評価		
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		円		事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕 462,000 円				評価		
	指定管理によって、施設の管理・運営に係る職員の 人件費や修繕費等が軽減されている。			〔行革効果額の積算根拠〕						
					R2	R1	比較			
				直営支出額	462,000	462,000			0	
				市支出額	0	0			0	
効果額	462,000	462,000		0						

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の適正かつ円滑な管理	○	—	3
自主事業	各種イベント等の開催	○	—	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切に保守・点検が行われていた。	—	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守・点検が行われた。	—	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に行われていることを確認した。	—	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節電・節水等、省エネルギーに努めていた。	—	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	損害保険への加入を確認した。	—	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に行われていることを確認した。	—	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に行われていることを確認した。	—	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	新聞、チラシ、ラジオ等を活用して広報していることを確認した。	—	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	レジや窓口等において正確で誠実な対応がされていることを確認した。	—	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	クレーム発生防止マニュアル等を作成する等、適切に行われていることを確認した。	—	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	適切に行われていることを確認した。	—	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	適切に行われていることを確認した。	—	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われていることを確認した。	—	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	—	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に行われていることを確認した。	—	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故等が発生した際に、迅速に市担当者へ通報があり、事故対応体制が確立されていることを確認した。	—	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	連絡網、対応マニュアル等を確認した。	—	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を実施したことを聴取した。	—	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	3
		調査内容	—	
		調査結果	アンケート調査については、いつでも実施可能であるが利用者から直接意見をいただき要望や改善策等について検討することができるため、ペーパーによる調査は実施していない。	
	要望・苦情等	良好とする評価 地元農産物（りんご、野菜、米など）を求めて市内外からの来客や遠方から農産物の注文がある。		
		苦情・改善要望等	建物内部の証明が暗いので改善して欲しい等の要望が寄せられている。	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	2	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	江刺地域の農畜産物及び特産品等を効果的に販売・PRし、生産者と消費者交流の拠点施設となっている。また、地域の農業者の所得向上にも貢献している。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	改善すべき課題等なし。	—	改善すべき課題等なし。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	農林部農政課	評価者職氏名	課長 小岩 敬一	評価日	令和3年7月9日
-------	--------	--------	----------	-----	----------

施設名称	奥州市胆沢牧野	施設所在地	胆沢郡金ヶ崎町
指定管理者名	岩手ふるさと農業協同組合	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	畜産の振興を図り、農業経営の安定に寄与する。	指定管理料の有無	有
施設概要	草地：156ha（放牧地：101ha 採草地：55ha） 施設：木造牛舎2棟（150頭規模（H14建設）及び98頭規模（H21建設））、管理棟、格納庫、収納庫、避難舎、堆肥舎	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	夏期放牧頭数		47,234	44,837	45,298	44,814	
冬期飼養頭数		47,052	46,367	45,225	46,839	103.6	
	(計)	94,286	91,204	90,523	91,653	101.2	
〔利用者の増減理由〕 その年の草地情勢や預託日数によって受入定数が増減するが、毎年ほぼ受入定数に達している。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)		
収入	指定管理料	50,762,000		50,762,000	使用料	41,065,839	使用料	29,253,940	
	利用料金			0	賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0	歳入		その他		
	雑収入			0	牧草売払代金	3,574,930	牧草売払代金	12,309,990	
	計	50,762,000	0	50,762,000	計(A)	44,640,769	計(A)	41,563,930	
	支出	人件費	25,812,888		25,812,888	指定管理料	50,762,000	人件費	
		需用費	22,398,410		22,398,410	委託料		委託料	41,574,480
		役務費	353,143		353,143	需用費		需用費	
		委託料	20,000		20,000	※経常的		その他	142,177
		使用料・賃借料	1,095,440		1,095,440	計(B)	50,762,000	計(B)	41,716,657
租税公課				0	支出(B-A)	6,121,231	支出(B-A)	152,727	
その他諸費		1,082,119		1,082,119	歳出		維持修繕費	131,208	
計	50,762,000	0	50,762,000	※臨時的		備品購入費			
損益	0	0	0	計(C)	6,924,060	計(C)	131,208		
				支出(B+C-A)	13,045,291	支出(B+C-A)	283,935		
職員配置	常勤職員	2人			市の正職員		人		
	非常勤職員	6人			市の臨時・非常勤職員		人		

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額	0
------------------	---------	-------	------	---

指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	50.9%	R2年度 指定管理者損益	0円	評価
---------------	------------------------	-------	-----------------	----	----

利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数	553.8円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
------------------------	----------------	--------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△ 5,968,504円	評価
	・指定管理者制度導入後に冬期預託牛舎を増築したため、指定管理者制度導入前と比べ、管理する設備が増えており、支出における直接的な比較は難しい。 ・飼養に係る人員について指定管理をすることにより専門の者を通年雇用することができる。			〔行革効果額の積算根拠〕				
	直営支出額	152,727	152,727	比較		0	3	
	市支出額	6,121,231	5,881,703			239,528		
効果額	△ 5,968,504	△ 5,728,976			△ 239,528			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・牧野施設及び設備の維持管理に関する業務 ・牧野運営に関する業務	○		3
自主事業	なし			

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	小修繕・応急修理についてはスタッフが対応するなど、経費削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による点検や作業員による機械清掃、日常点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	随時の現地確認により、実施を確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネルギーに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入		—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	随時の現地確認等により、防疫のための石灰散布等も含めて適切に実施されている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	市内外利用者ともに適切に執行されている。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	J A 広報等を活用して周知等を図ったことを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	牧野及びJ A 支所での受付体制を整え、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	丁寧に対応していることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	—		
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の定期報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	市が委託している法定点検の実施を確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	毎日の戸締り点検及び施設巡回の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	例年11月に実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無		評価	
		調査内容			
		調査結果			
	要望・苦情等	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・現場職員の対応が良い。 ・牧野は農家にとって頼りになる存在である。 ・牧野があるから増頭することができる。 		3
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・受入可能頭数に達しているため、牛を預けたい時に受け入れてもらえない。 ・妊娠鑑定を60日以内に行った場合でも、受け入れて欲しい。 		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・胆沢牧野の夏季放牧・冬季飼養合計の利用実績は受入頭数の定数に達していることから、良好な運営管理がなされている。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	特になし	なし	特になし

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	農林部農地林務課	評価者職氏名	課長 菊地 健也	評価日	令和3年7月8日
-------	----------	--------	----------	-----	----------

施設名称	胆沢水の郷未来館	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	若柳第7区自治会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	自然環境保全意識の向上とコミュニティ醸成を図り、中山間地域の活性化を推進する。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	管理室、体験交流室、研修室、農産物加工実習室、文化・スポーツホール		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	胆沢水の郷未来館		1,588	1,567	1,286	1,099	
							3
	(計)	1,588	1,567	1,286	1,099	85.5	
	〔利用者の増減理由〕 新型コロナウイルス感染症の影響による各種事業開催数の減少に伴い、利用者数も減少している。						

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	520,000		520,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	6,000		6,000		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	134,768		134,768						
	計	660,768	0	660,768		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	※経常的 歳出	指定管理料	520,000	人件費	
		需用費	388,052		388,052		委託料		委託料	230,400
		役務費	8,000		8,000		需用費		需用費	
		委託料	170,835		170,835		その他		その他	
		使用料・賃借料	36,740		36,740	計(B)	520,000	計(B)	230,400	
租税公課				0	支出(B-A)	520,000	支出(B-A)	230,400		
その他諸費				0	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費	476,814	
計		603,627	0	603,627		備品購入費		備品購入費		
				計(C)	0	計(C)	476,814			
損益	57,141	0	57,141	支出(B+C-A)	520,000	支出(B+C-A)	707,214			
職員配置	常勤職員		0人	市の正職員		0人				
	非常勤職員		0人	市の臨時・非常勤職員		0人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	88,500	82,500	6,000							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		%	R2年度指定管理者損益	57,141円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		473.2円	事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△ 289,600円	評価		
				〔行革効果額の積算根拠〕						
				R2	R1	比較				
	市支出の物件費(需用費、委託料)の削減			直営支出額	230,400	230,400	0	3		
				市支出額	520,000	520,000	0			
			効果額	△ 289,600	△ 289,600	0				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、利用者等に関する窓口相談業務、維持管理及び修繕に関する業務、警備及び清掃等の管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	自治会行事、子供会行事、農業関連会議、郷土芸能伝承活動、団体役員会、趣味等サークル活動、各種相談会	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検が行われ、良好な管理がされている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常及び定期的な清掃を実施し、きれいな状態になっている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	適正使用と認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正使用と認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正と認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	—		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブルがなく、正確で適正な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	利用者から苦情はなかった。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	自主事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われており特に苦情等は発生していない。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法廷転園の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	管理マニュアルで連絡体制を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	防災訓練を自主的に実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無		評価 3
		調査内容		
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	清潔に管理されている。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り利用されており、管理も適切に行われている。 ・実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性はない。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	特になし		特になし

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	農林部農地林務課	評価者職氏名	課長 菊地 健也	評価日	令和3年7月8日
-------	----------	--------	----------	-----	----------

施設名称	しもやなぎ交流館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	しもやなぎ交流館運営委員会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	中山間地域の地域資源を活かしながら農業の振興、生活基盤の総合的整備、定住との交流の環境改善及び地域コミュニティの活性化を図る。	指定管理料の有無	無
施設概要	多目的ホール、調理実習室、集会室、研修室	指定管理料の区分	利用料金のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	しもやなぎ交流館		777	658	605	442	
							3
	(計)	777	658	605	442	73.1	
〔利用者の増減理由〕							
新型コロナウイルス感染症の影響による各種事業開催数の減少に伴い、利用者数も減少している。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	6,000		6,000		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	150,040		150,040						
	計	156,040	0	156,040		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	※経常的 歳出	指定管理料	0	人件費	
		需用費	118,149		118,149		委託料		委託料	
		役務費			0		需用費		需用費	
		委託料	24,800		24,800		その他		その他	
		使用料・賃借料			0	計(B)	0	計(B)	0	
租税公課				0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	0		
その他諸費				0	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
計	142,949	0	142,949	備品購入費			備品購入費			
				計(C)	0	計(C)	0			
損益	13,091	0	13,091	支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	0 人			市の正職員		0 人			
	非常勤職員	0 人			市の臨時・非常勤職員		0 人			

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	37,500	31,500	6,000

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	%	R2年度指定管理者損益	13,091 円	評価
-----------	--------------------	---	-------------	----------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	---	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			0 円	評価
	〔行革効果額の積算根拠〕							
		R2	R1	比較				3
	直営支出額	0	0		0	0		
	市支出額	0	0		0	0		
効果額	0	0		0	0			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、利用者等に関する窓口相談業務、維持管理及び修繕に関する業務、警備及び清掃等の管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	自治会行事、子供会行事、農業関連会議、郷土芸能伝承活動、団体役員会、趣味等サークル活動、各種相談会	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検が行われ、良好な管理がされている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常及び定期的な清掃を実施し、きれいな状態になっている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	適正使用と認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正使用と認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正と認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	—		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブルがなく、正確で適正な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	利用者から苦情はなかった。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	自主事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われており特に苦情等は発生していない。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法廷転園の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	管理マニュアルで連絡体制を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	防災訓練を自主的に実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無		評価 3
		調査内容		
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	清潔に管理されている。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の梅を用いた特産開発に取り組み、地域の活性化に貢献している。 ・地域の財産として、適正な管理・運営がなされている。 ・実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性はない。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	特になし		特になし

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	農林部農地林務課	評価者職氏名	課長 菊地 健也	評価日	令和3年7月8日
-------	----------	--------	----------	-----	----------

施設名称	上笹森交流館	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	上笹森地区振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民との相互の交流とコミュニケーションの醸成を図り、農業の振興と一体的な地域の活性化を推進するため。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	利用料金のみ
施設概要	多目的ホール、和室、調理実習室、コピー室		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	上笹森交流館		2,206	2,759	2,897	2,502	
							3
	(計)	2,206	2,759	2,897	2,502	86.4	
〔利用者の増減理由〕							
新型コロナウイルス感染症の影響による各種事業開催数の減少に伴い、利用者数も減少している。							

2 経費等の状況

	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
事業収支 (単位:円)	収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料	
		利用料金	3,000		3,000		賃貸料		賃貸料	
		自主事業			0		その他		その他	
		雑収入	257,696		257,696					
		計	260,696	0	260,696		計(A)	0	計(A)	0
	支出	人件費			0	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	
		需用費	218,057		218,057		委託料		委託料	
		役務費			0		需用費		需用費	
		委託料	42,639		42,639		その他		その他	
		使用料・賃借料			0		計(B)	0	計(B)	0
租税公課				0	支出(B-A)		0	支出(B-A)	0	
その他諸費				0	歳出 ※臨時的		維持修繕費		維持修繕費	
計	260,696	0	260,696	備品購入費			備品購入費			
				計(C)	0	計(C)	0			
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	0人			市の正職員	0人				
	非常勤職員	0人			市の臨時・非常勤職員	0人				
利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	306,300	303,300	3,000							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		%		R2年度指定管理者損益	0円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		円		事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕 0円				評価	
					〔行革効果額の積算根拠〕					
					R2	R1	比較			
	直営支出額				0	0	0		3	
	市支出額				0	0	0			
効果額				0	0	0				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、利用者等に関する窓口相談業務、維持管理及び修繕に関する業務、警備及び清掃等の管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	自治会行事、子供会行事、農業関連会議、郷土芸能伝承活動、団体役員会、趣味等サークル活動、各種相談会	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
①施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検が行われ、良好な管理がされている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常及び定期的な清掃を実施し、きれいな状態になっている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	適正使用と認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正使用と認められる。	○	
②サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正と認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	—		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブルがなく、正確で適正な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	利用者から苦情はなかった。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	自主事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書を確認した。	○	
③危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われており特に苦情等は発生していない。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法廷転園の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	管理マニュアルで連絡体制を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	防災訓練を自主的に実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無		評価 3
		調査内容		
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	清潔に管理されている。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り利用されており、管理も適切に行われている。 ・実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性はない。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	特になし		特になし

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	農林部農地林務課	評価者職氏名	課長 菊地 健也	評価日	令和3年7月8日
-------	----------	--------	----------	-----	----------

施設名称	小黒石自然体験交流館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	古代の流れ源流「網代滝」を守る会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民との相互の交流とコミュニケーションの醸成を図り、農業の振興と一体的な地域の活性化を推進するため。	指定管理料の有無	無
施設概要	多目的ホール、調理実習室、生き生きルーム、ユニバーサルホール、会議室	指定管理料の区分	利用料金のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	小黒石自然体験交流館		1,293	1,103	1,277	1,266	
(計)		1,293	1,103	1,277	1,266	99.1	
〔利用者の増減理由〕 各種事業開催数により、各年の利用者に増減がある。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	15,000		15,000		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	163,850		163,850						
	計	178,850	0	178,850		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	※経常的 歳出	指定管理料	0	人件費	
		需用費	116,390		116,390		委託料		委託料	
		役務費			0		需用費		需用費	
		委託料	62,460		62,460		その他		その他	
		使用料・賃借料			0	計(B)	0	計(B)	0	
租税公課				0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	0		
その他諸費				0	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
計	178,850	0	178,850	備品購入費			備品購入費			
損益	0	0	0	計(C)	0	計(C)	0			
支出(B+C-A)				0	支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	0		
職員配置	常勤職員	0 人			市の正職員	0 人				
	非常勤職員	0 人			市の臨時・非常勤職員	0 人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	84,900	69,900	15,000							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		%		R2年度指定管理者損益	0 円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		円		事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕 0 円				評価		
				〔行革効果額の積算根拠〕						
				R2	R1	比較				
	直営支出額	0	0	0	0	0		3		
市支出額	0	0	0	0	0					
効果額	0	0	0	0	0					

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、利用者等に関する窓口相談業務、維持管理及び修繕に関する業務、警備及び清掃等の管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	古代の流れ源流「網代滝」を守る会事業 みずさわエコキッズ事業	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検が行われ、良好な管理がされている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常及び定期的な清掃を実施し、きれいな状態になっている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	適正使用と認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正使用と認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正と認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	—		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブルがなく、正確で適正な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	利用者から苦情はなかった。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	自主事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われており特に苦情等は発生していない。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法廷転園の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	管理マニュアルで連絡体制を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	防災訓練を自主的に実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無		評価 3
		調査内容		
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	清潔に管理されている。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の財産として、適正な管理・運営がなされている。 ・地域の豊かな環境を守り、里山の自然・歴史を語り継ぐ活動の拠点施設として有効に活用している。 ・実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性はない。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	特になし		特になし

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	農林部農地林務課	評価者職氏名	課長 菊地 健也	評価日	令和3年7月8日
-------	----------	--------	----------	-----	----------

施設名称	新里地区振興会館	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	新里地区振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民との相互の交流とコミュニケーションの醸成を図り、農業の振興と一体的な地域の活性化を推進するため。	指定管理料の有無	無
施設概要	ふれあいサロン、調理実習室、営農研修室、加工室、担い手研修室	指定管理料の区分	利用料金のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	新里地区振興会館	1,779	1,785	1,366	789	57.8	
(計)	1,779	1,785	1,366	789	57.8		
〔利用者の増減理由〕 新型コロナウイルス感染症の影響による各種事業開催数の減少に伴い、利用者数も減少している。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料		
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	159,538		159,538						
	計	159,538	0	159,538		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	※経常的 歳出	指定管理料	0	人件費	
		需用費	122,538		122,538		委託料		委託料	
		役務費	7,000		7,000		需用費		需用費	
		委託料	30,000		30,000		その他		その他	
		使用料・賃借料			0	計(B)	0	計(B)	0	
租税公課				0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	0		
その他諸費				0	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
計	159,538	0	159,538	備品購入費			備品購入費			
				計(C)	0	計(C)	0			
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	0 人			市の正職員		0 人			
	非常勤職員	0 人			市の臨時・非常勤職員		0 人			
利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	102,600	102,600	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出			%	R2年度指定管理者損益	0 円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				0 円	評価
					〔行革効果額の積算根拠〕					
					R2	R1	比較			
	直営支出額				0	0			0	
	市支出額				0	0			0	
効果額				0	0			0		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、利用者等に関する窓口相談業務、維持管理及び修繕に関する業務、警備及び清掃等の管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	地域活動（自治会行事、子供会行事、地域コミュニティ行事） 営農組合活動、郷土芸能活動、味噌・餅加工	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検が行われ、良好な管理がされている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常及び定期的な清掃を実施し、きれいな状態になっている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	適正使用と認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正使用と認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正と認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	—		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブルがなく、正確で適正な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	利用者から苦情はなかった。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	自主事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われており特に苦情等は発生していない。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法廷転園の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	管理マニュアルで連絡体制を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	防災訓練を自主的に実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無		評価 3
		調査内容		
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	清潔に管理されている。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の加工を手がけ雇用の確保と地域の活性化に貢献している。 ・地元の財産として、適正な管理・運営がなされている。 ・実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性はない。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	特になし		特になし